

令和4年度

事業報告書

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 久山町社会福祉協議会

事業の概要

本会では、「誰もが安心して生きがいを持った暮らしを送ることができる地域づくり」を基本理念に、地域福祉活動の推進に取り組みました。小中学生への福祉教育事業や、ひとり暮らしを励ます会でのバスハイク、糟屋中部3町から委託を受けている手話奉仕員養成講座等、コロナ禍により実施できなかった事業等も感染症対策を講じながら実施することができました。昨年度より実施している法人後見事業では、令和4年9月1日に保佐人を受任し、被保佐人の権利擁護に努めました。また、町内にある社会福祉法人で情報交換会を行い、地域のニーズに即した取り組みを連携して行う為、久山町社会福祉法人連絡会「ランタナ」が組織化されました。

令和2年3月より実施されていた「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付」は、令和4年9月30日をもって終了となりました。この借受人世帯をサポートする為、生活福祉資金特例貸付償還期間中における「生活困窮状態が続いている借受人世帯への相談援助業務」を、福岡県社会福祉協議会より委託を受け実施しました。徐々に元の生活が戻りつつある中でも、物価の高騰や所得の減少等により、依然として生活維持が困難な世帯が多く見受けられる状況である為、ドネーションバンクセンターでの支援を行いながら、自立した生活が送れるよう取り組みました。

本年度の具体的な取り組みは、次のとおりです。

基本目標 1 人と人、人と地域がつながるまちづくり

主要施策 1 地域福祉・地域共生の意識向上

I 福祉教育の推進

1. 福祉教育教材の配布・活用

福岡県社会福祉協議会が発行している、福祉教育教材「ともに生きる」を小学校3年生に配布し、総合的な学習の時間等で活用していただきました。

配布冊数：久原小学校69冊、山田小学校52冊

2. 福祉体験学習・講座の実施

福祉への理解や関心を深め、学校生活や地域で活かすとともに、今後の地域福祉の担い手を育成することを目的に、小・中学生に対し福祉体験学習や福祉に関する講座を実施しました。本年度は以下の内容に取り組みました。

1) ふれあいスクール利用者との交流会（久原小学校3年生、中学2年生）

期日：令和4年12月6日（火）・・・小学生はオンラインでの実施。

令和5年3月7日（火）

場所：久山会館研修室

2) 手話体験学習（山田小学校3年生）

期日：令和4年9月30日（金）、10月17日（月）

場所：山田小学校

講師：粕屋地区聴覚障害者協会、久山町手話の会

3) 盲導犬体験学習（小学3年生）

期日：令和4年8月22日（月）

場所：久山会館研修室

講師：河口まき子さん（盲導犬ユーザー）

4) 認知症サポーター養成講座（中学1年生） ※キャラバン・メイトとして参加

期日：令和4年11月4日（金）

場所：久山会館2階

5) キッズサポーター養成講座（小学5年生） ※キャラバン・メイトとして参加

期日：令和4年9月30日（金）【久原小学校】、11月15日（火）【山田小学校】

場所：各小学校

6) 福祉講座（中学2年生） ※テーマ：災害ボランティア

期日：令和5年1月30日（月）

場所：久山会館1階、2階

講師：NPO法人リエラ 松永鎌矢さん

3. ひさやま福祉大学の開催（全5日）

住民の関心が高いものや地域の福祉課題をテーマに開催し、地域福祉活動の理解を深め、その担い手を養成しながら、住民一人ひとりが安心して暮らせるまちづくりを目指しています。本年度は、「福祉を楽しく学ぶ」、「ヤングケアラー」をテーマに開催しました。

期日：令和4年7月26日（火）、10月19日（火）、11月22日（火）、

令和5年1月17日（火）、3月28日（火）

場所：久山会館研修室

講師：NPO法人福岡県レクリエーション協会 佐藤靖典さん
NPO法人SOS子どもの村JAPAN 松崎佳子さん

Ⅱ 地域福祉・地域共生に関する広報活動

1. 社協だよりの発行 ※年4回（5、7、10、2月）

本会の取り組みを紹介する「特集」ページや、福祉の情報を周知する「ふくし Navi」、町内のボランティア活動や情報、人を紹介する「ボランティアニュース」「“翔んで” ひさやま」、町内で出会った人を紹介する「まちかど interview」等を通して、住民や社会資源等が繋がり、支え合える内容の広報紙づくりに努めました。（第111号～114号）

2. 多様な媒体を活用した情報発信

ホームページやフェイスブックを活用し、情報発信に努めました。

主要施策2 住民同士の交流の場・機会の充実

I 交流の場・機会づくりの支援

1. 世代間交流の実施

ふれあいスクールを利用されている方と、久原小学校3年生や久山中学校2年生が交流できる機会を創出し、世代間交流を行いました。（※再掲）

2. ひとり暮らしを励ます会の開催

コロナウイルス感染症により3年振りの開催となりましたが、高齢者の生きがいつくりや孤立感の解消を目的にバスハイクを実施し、高齢者同士や民生委員児童委員との交流を行いました。また、中学生が作成したメッセージカードを配布しました。

期 日：令和4年11月23日（水・祝）

場 所：柳川市近郊

参加者：67名（職員・民生委員児童委員含む）

3. ふれあい・いきいきサロン活動の推進

住民の孤立感の解消、閉じこもり予防、介護予防、健康維持等を目的にサロン活動の支援や助成を行いました。また、サロン間の情報交換や交流を図る為、年4回代表者会議を実施しました。

サロン数：11団体（令和5年3月31日時点）

回 数：119回（延べ回数）

参加者数：1,423名（延べ人数）

助成金額：284,600円（200円／人）

代表者会議：令和4年6月22日、9月26日、令和5年1月16日、3月24日

4. 久山サン・シー（3C）事業の実施

住民同士での支え合い活動や日頃から顔が見える関係を構築することを目的に、花を植えたプランターを各家庭に配布しています。本年度も久山植木株式会社より花苗のご提供、小・中学生に花植えに協力していただき、プランターを100個配布しました。

花植え：久原小学校3年生【11月7日（月）】、山田小学校3年生【11月8日（火）】、
久山中学校生徒有志【11月9日（水）】

5. 認知症の人を介護する家族への支援（全4日）

認知症家族交流会（すまいるカフェ）を開催し、認知症の人と在宅で生活している家族等の交流機会を設け、精神的負担の軽減に努めました。本年度はすまいるカフェの開催を定例化し、対象者が参加しやすくなるようにしました。

期 日：令和4年6月14日（火）、8月8日（月）、11月8日（火）、
令和5年2月13日（月）

参加者数：9名（延べ人数）

主要施策3 地域福祉活動・ボランティア活動の活性化

I 地域の担い手の確保・育成

1. ボランティア講座等の開催

福祉ニーズに合わせたボランティアの養成やボランティア活動の充実、福祉に関する知識の習得を目的に、本年度は以下の講座を開催しました。

1) “イチからまなべる” 成年後見制度！（全4日）

期 日：令和4年8月19日、8月26日、9月2日、9月9日（金）

場 所：久山会館研修室

参加者：5名

講 師：福岡県社会福祉協議会 権利擁護センター 武田明彦さん
一般社団法人いけだ社会福祉士事務所 池田将樹さん

2) 災害について考える研修会～災害は“他人ごと？”それとも“自分ごと？”～

期 日：令和4年6月4日（土）

場 所：久山会館研修室

参加者：23名

講 師：NPO法人リエラ 松永鎌矢さん

3) 目指せ、聴き上手！「傾聴講座」（全3日）

期 日：令和5年2月14日、2月21日、2月28日（火）

場 所：久山会館研修室

参加者：15名

講 師：NPO法人FFAフォロワーシップ協会
（協力：新宮町傾聴ボランティアそら）

2. 元気サポーター養成講座の開催（町受託事業）

地域デイサービス等の地域福祉活動の担い手となる「元気サポーター」の養成や、サポーターのスキルアップを目的に講座を開催しました。

1) 元気サポーター養成講座（全5日）

期 日：令和4年10月4日、10月11日、10月18日、10月25日、
11月1日（火）

場 所：久山会館研修室

参加者：13名

講 師：福岡青洲会病院、健康科学研究所、久山町役場健康課

2) 元気サポーターフォローアップ講座（全5日）

期 日：令和4年7月6日、7月13日、7月20日、7月27日、8月3日（水）

場 所：久山町生涯学習館

参加者：25名

講 師：NPO法人福岡県レクリエーション協会 佐藤靖典さん
久山町役場健康課

3. 認知症サポーター養成講座開催の支援（地域包括支援センター実施） ※再掲

認知症に関する理解と正しい知識を身につけ、認知症の人や家族をサポートできる方を養成し、住民の一人ひとりが安心して暮らせるよう、町や町内のキャラバン・メイトと協力し、認知症サポーター養成講座の実施をサポートしています。本年度は、久山中学校1年生への認知症サポーター養成講座と、小学校5年生へのキッズサポーター養成講座を実施しました。また、キャラバン・メイト会議に3回出席し、講座内容等について協議しました。

4. 手話奉仕員養成講座の開催（受託事業：糟屋中部3町）

聴覚障がい者（ろう者）が安心して生活できるよう、手話語彙や手話表現技術等を習得した手話奉仕員の養成を目的に、手話奉仕員養成講座を実施しています。令和4年6月16日に開講し、令和5年7月13日に閉講予定です。

期 日：令和4年6月16日より毎週木曜日（祝日等除く）

開催日数：34日（全47日）

場 所：久山町生涯学習館

受講者数：21名（久山町4名、篠栗町10名、粕屋町7名）

II 団体への活動支援

1. 町内福祉団体等への支援

社協だよりやホームページ等で町内福祉団体等の活動内容を掲載し、住民への周知啓発をしています。本年度は、シニアクラブの各単位クラブやグラウンドゴルフ部会の取り組みを社協だより（第113号）に掲載しました。また、共同募金配分金等を活用し、各団体の福祉活動の充実を図りました。助成団体等は下記のとおりです。

- 1) 久山町シニアクラブ連合会
- 2) 久山町ボランティア連絡協議会
- 3) つくしんぼうの会（障害者（児）親の会）
- 4) 子育て支援なかよしグループ（なかよしクッキング教室）
- 5) 久山町手話の会
- 6) ボランティア団体つむぎの会（地域コミュニティ「よってこ」）
- 7) 福祉協力校（小・中学校）

2. マイクロバス貸出事業の実施

町内福祉団体等へマイクロバスの貸し出しを行い、学習機会の創出や地域福祉活動の内容の充実を図りました。令和4年9月より、(有)若杉観光に委託し実施しました。

貸出回数：12回

基本目標2 一人ひとりの暮らしを受け止め、支えるまちづくり

主要施策1 相談支援体制の充実

I 包括的な相談支援体制の充実

1. 心配ごと相談所運営事業

住民の日常生活上のあらゆる相談に応じるため、弁護士及び相談員による心配ごと相談所を月に1回開設しました。

期 日：毎月第3木曜日

場 所：久原財産区管理会

弁護士名：田中里美さん（田中里美法律事務所）

相談件数：19件

（相続8件、離婚3件、相隣関係3件、事故1件、金銭貸借1件、その他3件）

II 地域における相談機能の強化

1. 民生委員児童委員との連携強化

民生委員児童委員協議会の定例会への職員の参加や、各事業、講座等に参加していただきながら、地域の福祉課題等の情報を共有し、課題解決に向けて取り組んでいます。

2. 社会福祉法人の連携強化

本年度は、本会を含む町内にある社会福祉法人（8法人）で情報交換会を行い、各法人の取り組みや今後の方針等について協議しました。来年度より、久山町社会福祉法人連絡会「ランタナ」として、地域のニーズに即した取り組みを連携しながら実施していくことになりました。本年度の情報交換会は下記のとおり開催しました。

期 日：令和4年6月9日（木）、令和5年1月13日（金）

場 所：久山会館会議室

参加法人：バプテスト心身障害児（者）を守る会（久山療育園重症児者医療療育センター）、久原福祉会（久山自立園）、久山福祉会（若葉荘）、徳峰会（ひさやま保育園）、正樹福祉会（ヒルンド久山）、至誠会福祉会（レイクウッド久山）、清流の里久山（久山かじか保育園）、久山町社会福祉協議会

主要施策2 情報提供と福祉サービスの充実

I 福祉に関する情報提供の充実

1. 情報提供の充実

社協だよりでの、「特集」や「ふくしNavi」、「“翔んで” ひさやま」等のコーナーにて、町内の福祉サービスや福祉活動、ボランティア活動に関する情報発信を行いました。

II 福祉サービスの充実

1. インフォーマルな生活支援サービスの創出

買い物や移動、ゴミ出し等の日常生活の困りごとを、家族や友人、知人、近所の人、地域のボランティア団体等が援助し、自立を支えるインフォーマルサービス（住民参加型の生活支援サービス）について、来年度中に実施できるよう検討しています。

2. 生活支援コーディネーターの業務遂行（町受託事業）

地域における福祉ニーズや社会資源の把握、ネットワークの構築、多様な地域資源による生活支援サービス等を整備する為、地域ケア会議（自立支援型事例検討会）や本年度立ち上がった下山田福祉ネットワーク会に参加しました。また、生活支援コーディネーターの役割や活動を住民の皆さんに広く周知する為、生活支援コーディネーター通信「hand in hand」を発行しました。（年2回）

3. 協議体（手に手をとってあつまりの輪）の運営（町受託事業）

住民や関係機関、関係団体等が参加し、地域で生活する上での課題の解決に向けた支え合いのまちづくりを目指す為、本年度は4回開催しました。協議体では、生活支援サービスの実現に向けて協議を重ねました。

1）期日：令和4年 4月19日（火） 参加者：17名

2）期日：令和4年 7月19日（火） 参加者：17名

3）期日：令和4年10月18日（火） 参加者：12名

4）期日：令和5年 1月17日（火） 参加者：10名

助言者：公益財団法人さわやか福祉財団 阿部かおりさん、竹下順一さん

主要施策3 複合的な課題を抱える人々への支援の充実

I 権利擁護の推進

1. 各種事業の周知啓発

日常生活自立支援事業等の各種事業の周知啓発を行い、利用促進に取り組みました。本年度も社協だより（第114号）に掲載し、住民の皆さんへ広く周知しました。

2. 日常生活自立支援事業の実施（福岡県社協受託事業）

福祉サービスの利用援助支援や日常的な金銭管理、書類等の預かりを行い、判断能力が不十分な方の権利擁護に努めました。

契約件数：3件（うち新規1件） 解約件数：1件（後見移行）

支援回数：53回

3. 法人後見事業の実施

判断能力が不十分な方が自分らしく安心して生活できるよう、法人が後見人等（成年後見人、保佐人、補助人）になり、関係者、関係機関等と連携しながら、被後見人等の権利擁護に努めました。

1) 後見人等の業務内容

受任件数：保佐人1件（令和4年9月1日受任）

通常業務：6回

2) 法人後見運営委員会

期日：令和4年4月5日（火）

場所：久山会館研修室

II 生活困窮者自立支援の充実

1. ドネーションバンクセンター

生活に困窮されている世帯への支援を目的に、ドネーションバンクセンターを実施しています。ドネーションバンクセンターでは、住民や企業等に食料品等の寄付を呼びかけ、生活に困窮されている世帯へ現物給付を行いながら、状況が改善できるよう支援しました。また、新型コロナウイルス感染症による自宅療養や自宅待機になった世帯に食料品や日用品を支給しました。

寄付金：5,000円（2件）

物品寄付：延べ111件

支援件数：延べ439件（うち、コロナによる自宅療養・待機14件）

2. 生活福祉資金貸付事業（福岡県社協実施）

低所得者や高齢者、障がい者世帯の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図る為、生活福祉資金の相談窓口業務に努めました。令和2年3月より実施されていた「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付」は、令和4年9月30日で終了となりました。この借受人世帯をサポートする為、生活福祉資金特例貸付償還期間中における「生活困窮状態が続いている借受人世帯への相談援助業務」を福岡県社会福祉協議会より委託を受け、実施しました。（委託契約期間：令和4年4月1日～令和17年3月31日）

相談申請件数：30件

貸付承認件数：15件（不承認0件）

貸付実行金額：5,391,000円

3. ふくおかライフレスキュー事業

県内の社会福祉法人が参画し、制度では対応できない生活困窮者に対し、食料支援やライフラインの復旧等、経済的援助（現物支給）を行っています。糟屋郡では、粕屋地区連絡会を発足しており、連絡会でリユース品の支給や各種制度・サービスにつなぐ等、生活が安定するまでの支援を行いました。

1) 粕屋地区連絡会管理者会議（1回）

期日：令和5年 3月16日（木） 場所：特別養護老人ホーム同行園

2) 粕屋地区連絡会サポーター会議（4回）

期日：①令和4年 5月19日（木） ②令和4年 8月25日（木）

③令和4年11月17日（木） ④令和5年 2月15日（水）

場所：特別養護老人ホーム同行園（①②はオンラインでの開催）

3) 久山町での支援（1回）

離婚による別居に伴うリユース品支給の支援（令和4年11月1日）

基本目標3 元気と笑顔があふれるやさしいまちづくり

主要施策1 健康づくり・生きがいつくりの充実

I 健康づくり・介護予防の推進

1. ふれあい・いきいきサロン事業の活動支援（※再掲）

各行政区において、高齢者の孤立感の解消、閉じこもり予防、介護予防、健康維持の向上を目的として行う、ふれあい・いきいきサロン活動の助成及び啓発を行いました。

2. 中長期通所サービス事業（ふれあいスクール）の実施（町受託事業）

介護保険サービス利用までの必要がない高齢者に対して、心身機能の維持・向上、生きがいの創出を目的に、介護予防事業として実施しています。本年度は、コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、時間を短縮して開催し、利用者の安全を第一に考えての実施に努めました。

開催回数：延べ140回（毎週水曜、木曜、金曜）

利用者数：延べ865名

登録者数：26名（令和5年3月31日現在）

3. レクリエーション備品等の貸し出し

健康づくりや介護予防、住民同士の交流を目的に、子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめるレクリエーション道具の貸し出しを行いました。また、通院等による車椅子やシルバーカー、チャイルドシートを貸し出しました。

1) レクリエーション備品等（貸出回数：延べ23回）

2) 車椅子（貸出回数：延べ51回）

3) シルバーカー（貸出回数：延べ10回）

4) チャイルドシート（貸出回数：延べ51回）

II 心の健康と生きがいつくりの推進

1. 心配ごと相談所運営事業（※再掲）

住民の日常生活の不安や悩みを解消するため、弁護士や民生委員児童委員による相談所を運営し、事業の周知啓発に取り組みました。

2. ひとり暮らしを励ます会の実施（※再掲）

ひとり暮らし高齢者を対象に、バスハイクを実施し、参加者同士や民生委員児童委員との交流の場をつくり、孤立防止や生きがいつくりを推進しました。

3. 移送サービス事業の推進

高齢者や身体障がい者等の通院や社会参加の促進を目的に、スロープ付きの軽自動車の貸し出しを行いました。

利用回数：延べ9回 走行距離：190km

4. 高齢者への祝品贈呈（99歳）

長年社会の発展に貢献された高齢者を敬愛し、長寿をお祝いするため、長寿祝品（ギフトカタログ等）を贈呈しました。

訪問日：令和4年9月14日（水）、9月15日（木）

対象者：7名

主要施策2 災害等の緊急時における備えの充実

I 防災・防犯対策の強化

1. 災害に関する講座の開催（※再掲）

災害時に必要な知識と技術を学び、防災意識を高める講座を行いました。

2. 災害ボランティアセンター設置運営訓練

災害等発生時の迅速な対応や町内外からの災害ボランティアの円滑な受け入れに向け、災害ボランティアセンターの設置運営訓練を行いました。本年度も、糟屋地区内の社協で合同訓練を実施しました。

期日：令和5年3月21日（火・祝）

場所：志免町総合福祉施設シーメイト

3. 高齢者等見守り事業の推進（町受託事業）

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、障がい者世帯等に対し、災害時を見据えた平常時の見守りを心がけ、見守り活動の強化を図りました。本年度は、地区別見守りネットワーク会議を各行政区2回実施しました。また、見守り協力者の新規登録を促す為、見守りボランティア養成講座を開催しました。

1) 見守り活動の実施

見守り協力者による見守り支援活動を実施しました。（見守り対象世帯：13世帯）

2) 地区別見守りネットワーク会議

実施期間：①令和4年6月24日（金）～7月8日（金）

②令和5年1月23日（月）～2月8日（水）

3) 見守りボランティア養成講座

期 日：令和5年1月19日（木）

場 所：久山会館会議室

参加者：13名

講 師：公益財団法人さわやか福祉財団 阿部かおりさん

4) 久山町消費者安全確保地域協議会への出席

期 日：令和5年2月16日（木）

場 所：久山町役場2階会議室

基本目標 4 安定した社会福祉協議会の基盤づくり

主要施策 1 社会福祉協議会の基盤整備

I 運営基盤の整備

1. 定款・諸規程の整備

社会福祉法をはじめとする法令の基準に従い、定款及び諸規程を整備し、遵守しました。
令和5年2月21日に、福岡県知事より定款の一部変更が認可されました。

2. 会計基準・経理規程の整備

経理規程を遵守し、適切な会計処理・運営に努めました。

II 自主財源の確保

1. 賛助会員

住民等に地域福祉活動を周知するとともに、活動への理解を求め、地域福祉への住民参加のひとつとして賛助会員への加入を推進しました。

本年度実績：1,454口（1,376世帯） 727,000円

2. 赤い羽根共同募金運動

福岡県共同募金会久山町支会と連携し、赤い羽根共同募金運動を推進しました。

本年度実績：3,443,982円（目標額：2,891,000円）

3. 福祉自動販売機の設置

住民が気軽に社会貢献でき、地域福祉活動の安定した財源を確保するため、町内の公共施設や社会福祉施設等に福祉自動販売機設置を推進しました。令和4年4月27日に、新たに草場公園前に設置しました。

本年度販売手数料：991,907円（町内11ヶ所に設置）

4. 社協だより広告掲載

株式会社かすや葬祭部の広告を社協だよりに掲載しました。（年4回）

5. 久山町民ゴルフ愛好会チャリティーコンペの開催支援

期 日：令和4年12月5日（月）

参加者：131名（チャリティー額：131,000円）

6. 寄付金（期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日）

香典返し寄付金：1,238,000円（32件）

一般寄付金：866,000円（20件）

Ⅲ 組織体制の強化

1. 評議員会の開催（3回）

1）第1回評議員会【定時評議員会】 令和4年6月23日（木）

- 第1号議案 令和3年度久山町社会福祉協議会事業承認について
- 第2号議案 令和3年度久山町社会福祉協議会一般会計決算承認について
- 第3号議案 令和3年度福岡県共同募金会久山町支会事業承認について
- 第4号議案 令和3年度福岡県共同募金会久山町支会決算承認について
- 第5号議案 久山町社会福祉協議会理事の選任について
- 第6号議案 久山町社会福祉協議会監事の選任について

2）第2回評議員会 令和5年1月25日（水）

- 第7号議案 令和4年度久山町社会福祉協議会一般会計補正予算（第1号）について
- 第8号議案 令和4年度福岡県共同募金会久山町支会補正予算（第1号）について
- 第9号議案 久山町社会福祉協議会定款の一部改正について

3）第3回評議員会 令和5年3月30日（木）

- 第10号議案 令和4年度久山町社会福祉協議会一般会計補正予算（第2号）について
- 第11号議案 令和5年度久山町社会福祉協議会事業計画について
- 第12号議案 令和5年度久山町社会福祉協議会一般会計予算について
- 第13号議案 令和5年度福岡県共同募金会久山町支会事業計画について
- 第14号議案 令和5年度福岡県共同募金会久山町支会予算について

2. 理事会の開催（3回）

1）第1回理事会 令和4年5月23日（月）

- 第1号議案 令和3年度久山町社会福祉協議会事業承認について
- 第2号議案 令和3年度久山町社会福祉協議会一般会計決算承認について
- 第3号議案 令和3年度福岡県共同募金会久山町支会事業承認について
- 第4号議案 令和3年度福岡県共同募金会久山町支会決算承認について
- 第5号議案 久山町社会福祉協議会理事候補者の推薦同意について
- 第6号議案 久山町社会福祉協議会監事候補者の推薦同意について
- 第7号議案～第11号議案
久山町社会福祉協議会評議員候補者の推薦同意について
- 第12号議案 令和4年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について
- 第13号議案 令和4年度第1回評議員会の招集について

2）第2回理事会 令和5年1月16日（月）

- 第14号議案 令和4年度久山町社会福祉協議会一般会計補正予算（第1号）について
- 第15号議案 令和4年度福岡県共同募金会久山町支会補正予算（第1号）について
- 第16号議案 久山町社会福祉協議会定款の一部改正について
- 第17号議案 久山町社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- 第18号議案～第21号議案
久山町社会福祉協議会評議員候補者の推薦同意について
- 第22号議案 令和4年度第2回評議員選任・解任委員会の招集について
- 第23号議案 令和4年度第2回評議員会の招集について

3）第3回理事会 令和5年3月22日（水）

- 第24号議案 令和4年度久山町社会福祉協議会一般会計補正予算（第2号）について
- 第25号議案 令和5年度久山町社会福祉協議会事業計画について

- 第26号議案 令和5年度久山町社会福祉協議会一般会計予算について
- 第27号議案 令和5年度福岡県共同募金会久山町支会事業計画について
- 第28号議案 令和5年度福岡県共同募金会久山町支会予算について
- 第29号議案 令和4年度第3回評議員会の招集について

3. 監事監査の実施（令和4年5月11日）

4. 評議員選任・解任委員会の開催（2回）

1) 第1回評議員選任・解任委員会 令和4年6月21日（火）

第1号議案～第5号議案 久山町社会福祉協議会評議員の選任について

2) 第2回評議員選任・解任委員会 令和5年1月20日（金）

第6号議案～第9号議案 久山町社会福祉協議会評議員の選任について

5. 久山町監査（令和4年7月21日）

IV その他

1. 福祉サービスに対する苦情受付

本年度受付件数：なし

2. 消火・避難訓練の実施（2回）

総合訓練（消火、通報、避難誘導訓練）を実施しました。

期日：①令和4年5月16日（月） ②令和4年11月11日（月）

3. 令和4年度A枠特別配分による車両購入

福岡県共同募金会のA枠特別配分に申請し、生活困窮者支援のためのアウトリーチ用車両購入に対して配分を受けました。

購入車両：スズキ スーパーキャリィX

配 分 金：1,366,170円

購 入 先：株式会社今任自動車

納 車 日：令和4年9月28日